

## 土木費

〔質疑〕白石市都市計画道路網見直し業務委託について、現在、都市計画道路が途中で終わっている部分が多く見られる。この計画見直しは、その道路を完成させるための見直しなのか、それとも新たに都市計画道路として計画するものなのか伺う。

〔答弁〕今回の都市計画道路網見直しでは、現状計画として残っている路線をすべて完成するのが必要なのかも含め、これからの白石市のまちづくりのあり方にとって、どのような都市計画の道路網が望ましいのかを、市民や有識者の意見を聴きながら総合的に検討していきたい。

〔質疑〕造成宅地滑動崩落緊急対策事業について、その内容を伺う。

〔答弁〕東日本大震災の影響で滑動崩落が起きた緑が丘と虎子沢山地区で、地下水を抜く等の工事を行い、その後の事業効果を検証するため、井

戸の水位を測定し、その変動を平成27年度の1年間観測し、事業効果を確認するものである。

## 教育費

〔質疑〕小学校費・中学校費・幼稚園費に、言葉・運動・能力等の発達のおくれのある幼稚園児や、知的障がい・歩行障がい・情緒障がい・授業離脱や学習不応答などの児童・生徒を支援するため、支援員の予算が計上されているが、その現状について伺う。

〔答弁〕支援員については、平成14年度から学校いきいきプランで導入している。平成27年度は、小学校に13人、中学校に2人、幼稚園に4人配置し、平成26年度と比較すると5人増員となる。現状は、特別支援学級だけでなく普通学級でも発達障がいといわれる子どもたちが非常に多くなってきた。

〔質疑〕青少年相談センターの相談の利用件数と効果について伺う。

〔答弁〕平成25年度の相談件数は73件で、来所相談が26件、電話相談が26件、アイライン（いじめ相談窓口）でいじめや学校に関する悩み相談が21件である。効果は、父兄の場合、子育ての相談が主なもので、相談員が相談に乗り、悩みの解決に当たっている。

## 特別会計

◎平成27年度白石市国民健康保険特別会計予算

〔質疑〕保険財政共同安定化事業拠出金が、平成26年度と比較して倍以上に増額となる理由について伺う。

〔答弁〕この拠出金は、市町村国保間の保険料の平準化、財政の安定化を図るため制度化されているもので、平成26年度までは、1件当たりの医療費30万円以上80万円未満について拠出していたが、平成27年度からは、80万円未満のすべての医療費に対して拠出することになったためである。

〔質疑〕人間ドック費用助成金の本人負担が1万円から5千円となった経緯を伺う。

〔答弁〕人間ドック費用助成の拡充は、平成26年9月の教育民生常任委員会の行政視察の先進地事例報告を受け、検討したものである。

現在、白石市の一人当たりの医療費は高どまり傾向が続いており、医療費の抑制には、日ごろの健康管理と生活習慣病の予防、病気を早期に発見し、重症化を防ぐことが重要と考え、今回、人間ドック費用助成事業の拡充を図ろうとするものである。

広報による周知や、対象年齢の方へ直接個別通知を行うことで、受診率の向上を図り、検査後、所見がある方には、市の保健指導を受けてもらうことを考えている。

〔質疑〕受診者数はどのくらいを想定しているのか。

〔答弁〕平成25年度の実績は24名、平成26年度は現時点で26名である。平成27年度は、170名を見込んでいる。

## 企業会計

◎平成27年度白石市水道事業会計予算

〔質疑〕宮城県仙南・仙塩広域水道用水供給事業の受水費が約8千900万円下がったことで、水道料金を安くすることはできないのか。

〔答弁〕現在、市街地の老朽管が60年近く経過しており、赤さびこぶや赤水の発生、漏水、表面の腐食等が進んでいる状況にある。安全で良質な水を供給することを最優先として、老朽管更新やその他の設備更新に少しでも財源を充て、安心・安全な水道供給を確保するため、現行の水道料金は、据え置きしたいと考えている。

〔質疑〕平成27年度の老朽管更新は、何メートルを予定しているのか。

〔答弁〕平成27年度は、約1.8キロメートルを予定している。